



Snowmonterey +1

子供たちの滑りを見て思う

石狩スキー連盟

会長 佐々木良則

2015年度の総会(2014年10月13日)において、会長の職を仰せつかった佐々木良則と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、今シーズンの活動がスタートし連盟各部の行事が進められています。石狩市民スポーツ祭り(サーモンマラソン)への協力をスタートとし、雪上前講習会、初滑り会、テクニカル・クラウンチャレンジ講習会、SAT事業への講師派遣、冬季会員研修会、北海道スキー技術選応援ツアー、デモ講習会、冬季スキー大会、女性・シニア対象の講習会等々、各部が主体となり事業が着々と実施され3月にニセコスキーバスツアーを残すのみとなりました。

先日(2月11日)市民スキー大会に参加し子供たちの滑りを見ていましたがその姿に感動しました。外足にしっかりと荷重し、最短コースを狙って滑る姿には逞しさや力強さを感じました。これらの素晴らしい滑りは、連盟の先生方が、スキー学校やクラブ、SAT等において、スキー技術の基礎・基本をしっかりと指導してきた成果が表れたものと思っています。

北海道の長い冬の間、室内で過ごすばかりでなく、ゲレンデに出て自由に滑り、自然の素晴らしさとスキーの楽しさを味わわせてあげることが、私たちスキー指導者に課せられた大切な努めの

一つであると考えています。子供たちはスキーの次世代を担う大切な宝です。彼らを育てていくことがスキーの普及発展につながるものと考えています。当連盟が行っているSAT事業への講師派遣は、そのような意味から重要な活動といえます。諸事情によりスキー学校やクラブで習うことができない子供たちにとって、インストラクターから直接に学ぶことができるということは貴重な機会です。きっと、スキーの楽しさを見つけ、また楽しく上手に滑ってみたいと思うに違いありません。

今年度は多くの方のご協力により、延123名をSAT事業に派遣することができました。中には5~6回も活動してくれた方がいらっしやいます。頭の下がる思いでいっぱいです。連盟には現在183名(2014年11月末)の会員が所属しています。しかし、学校でのスキー学習がウィークデーに行われる関係で、現職にある方は協力したくてもなかなかできない状況にあるものと思われます。できる範囲で構いませんので、今後さらに多くの方がSAT事業にご協力くださるようお願いいたします。子供たちへの指導はきっと次のスキーの発展につながるものと確信しております。

ご協力いただいた先生方に改めて心より感謝いたします。ありがとうございました。

